

# 令和 8 年 度 事 業 計 画

(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

(株) 八尾サービス

## 〈基 本 方 針〉

当社は、富山市の公共施設である八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、パインパーク、サンパーク、ゆめの森交流施設の指定管理業務を担うとともに、富山八尾中核工業団地の土地管理業務等を行い、自主財源の確保にも努めております。

さて、当社の屋台骨であるゆうゆう館の経営状況は、新型コロナウイルス感染症の収束後、徐々に回復し、令和 6 年度は好調に終わることができ、令和 7 年度においても令和 6 年度並みの売上高となりその勢いを維持した形となりました。特に好調なのは、レストラン部門の「日帰り宴会」で、地元団体等による宴会需要の回復がその要因と考えております。

日本銀行の「さくらレポート（令和 8 年 1 月）」では、北陸地域の景気の総括判断は「一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している」とされ、需要項目別動向の「観光」は「底堅く推移している」とされています。また、当館の宿泊客は日本人客がほとんどを占めますが、一昨年 12 月、ニューヨーク・タイムズにおいて「2025 年行くべき世界の都市 52 か所」に富山市が選定されたことを機に、当館のホームページを多言語化にリニューアルし利便性の向上を図ったところであり、今後のインバウンド需要の拡大が期待されます。

富山市においては、昨今の物価上昇等を考慮し令和 8 年 4 月からゆうゆう館の利用料金の改正を行ったことから、今後収益の改善が期待できるところであります。一方で、予約サイトからの宿泊予約が定着した今日、日々の宿泊料金設定等に変な苦慮している状況です。

前述のとおり、令和 7 年度のゆうゆう館の売上高は好調だった一昨年度とほぼ同額となる見込みであるものの、人件費、水道光熱費や下水道使用料等の「販売費及び一般管理費」が増加したことにより、純利益は減少しました。この傾向は今年度も続くと考えられ、当社の経営を圧迫していきます。

さらには、今年度の指定管理料が大きく減額されることから、非常に厳しい経営になると予想しています。このことから、今後は原価率を抑えつつ、お客様へのサービスの向上を目指していかなければならないという難しい舵取りが避けられない状況であります。

このほか、今年度から 3 年間、八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、パインパーク、サンパークの指定管理を受けることになりました。引き続き、利用者の利便性向上に努めてまいります。

これからも、地域に親しまれ信頼される企業を目指し、公益性に配慮しながら柔軟な発想を取り入れ、公的施設の管理運営、自主事業活動の推進を柱に、サービスの向上に取り組み、地域の発展に寄与してまいりたいと考えております。